

Taste of home

「さくらちゃん味見してごらん」と台所から聞こえて来る母の声。私は、普段から母の料理を味見することが多く、味見隊長と呼ばれる程だ。日本人の心を掴む肉じゃがは和食の人気メニューでもあり、家庭其々の味を持って居る。私の家庭での肉じゃがは祖母から母へ私へとリレーの様にバトンタッチされていく。母から肉じゃが作りを教わるが中々、上達せず、何故だろうと苛立ちだけが先走る。料理は楽しみながら心を込めて作るものだよ…と母に言われ、黙ってうつむいた自分が嫌になる。

ある日、祖母が長期入院する事になった。御見舞いに行っても、余り笑顔も無く食も細くなくなっていく祖母。そんな中、祖母は私の手を握り言い放った。

「さくらちゃんの作った肉じゃが食べたいね」

母では無く敢えて私に言ったと感じました。私は、祖母の為に肉じゃがを作る決意をした。祖母や母が作る肉じゃがの味を、私も同じ味に作りたいという強い気持ちになりました。母に、肉じゃが作りを教わり私なりのチャレンジがスタートしました。何度も何度も、肉じゃがを作り、失敗しては泣き失敗しては泣き大粒の涙を流した。母から手渡されたメモ…そこには祖母からの手書きで記されていた。

①にここに笑顔で

②くくじけずに

③じ自信を持って

④や優しい心で

⑤が頑張っごらん

私は嬉しくてたまりませんでした。頑張っ作った肉じゃがを祖母の元へ届けました。祖母は、肉じゃがを口にし美味しいよ上手に出来たね。と言い、バトンは確かに引きついたわの言葉に、嬉し泣きをしてしまいました。肉じゃがの一品が、私に勇気を起こさせる大きな影響を与えました。肉じゃがは、心まで温かくし、じゃがいもの様にホッコリさせます。祖母、母から教わった肉じゃがは一生の宝で隠し味は「大丈夫、美味しくなる」の言葉です。